



みんな
の
笑顔



ヘッドライン・ニュース

- ◆12月会議報告 ◆11月会議報告 ◆10月会議報告 ◆一般質問 ◆子ども模擬会議
- ◆産業常任委員会リモート視察研修 ◆勉強会 ◆開かれた議長室 ◆3月会議のお知らせ

12月会議で決まりました



12月会議は12月3日から24日まで行われ13件の議案が議決されました。
12議案は全会一致で可決となり、陳情は全会一致で不採択となりました。

令和2年12月会議(定例会)賛否の公表

条例の制定・一部改正

原案 可決

議第77号
鏡野町議会議員及び鏡野町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について
議第78号
鏡野町債権管理条例の制定について
議第79号
延滞金の割合の特例見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
議第80号
鏡野町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について
議第81号
鏡野町税条例の一部改正について
議第82号
鏡野町国民健康保険税条例の一部改正について

原案 可決

議第85号
令和2年度鏡野町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
議第86号
令和2年度鏡野町介護保険特別会計補正予算(第2号)
議第87号
令和2年度鏡野町下水道事業会計補正予算(第2号)

訴えの提起

原案 可決

議第88号
訴えの提起について(学校給食費滞納金の請求に関する訴え)

補正予算

原案 可決

議第83号
令和2年度鏡野町一般会計補正予算(第8号)
議第84号
令和2年度鏡野町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

陳情第2号

不採択

国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める陳情

条例の制定

鏡野町議会議員及び鏡野町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について

お金のかからない選挙の実現と候補者間の選挙運動の機会均等を図る観点から、国や地方公共団体が候補者の選挙運動の費用を負担する制度(選挙公営制度)が設けられており、各地方公共団体は条例に基づいて、一定の選挙公営を設けられるよう規定されていた。

公職選挙法の一部を改正する法律が令和2年12月12日に施行されることに伴い、町村議会議員選挙及び町村長選挙においても選挙公営制度が条例で定められるようになったため、鏡野町議会議員及び鏡野町長の選挙においても、選挙公営制度を導入するための条例を制定するもの。

【今までの選挙との相違点】 以下のことが新しく認められるようになりました。

1. 選挙運動用自動車の使用(①②どちらかの契約を選択)

*金額は上限

①一般運送契約(ハイヤー契約)

1日1台限り64,500円

②その他の契約(個別契約)

(1)自動車借入契約: 1日1台限り15,800円、

(2)燃料供給契約: 1日7,560円、

(3)運転手雇用契約: 1日1人限り12,500円

2. 選挙運動用ビラの作成

①町長 作成限度枚数: 5,000枚、37,550円
(7円51銭/枚)

②町議会議員 作成限度枚数: 1,600枚、12,016円
(7円51銭/枚)

3. 選挙運動用ポスターの作成

作成限度枚数: 110枚、126,170円(1,147円/枚)

*青字は新しく導入された制度

供託金

立候補者は供託金をおさめること

町長…50万円、町議会議員…15万円(新設)

*選挙における供託金においては、当選もしくは一定以上の結果を残した場合は全て返還されるが、有効投票総数に対して一定票に達しない場合は没収される。

*青字は新しく導入された制度

あいさつ状の禁止

(公職選挙法第147条の2)

政治家は、その選挙区内の人に年賀状などの「あいさつ状」を出すことは禁止されている。ここでいう「政治家」とは、公職の候補者、公職の候補者となろうとする者、現在公職にある者をいう。

主 な 12 月 補 正 予 算

新生児特別定額給付金給付事業費

900万円 増額

新型コロナウイルス感染症対応事業として国の定額給付事業の対象から外れた新生児への給付事業を実施するため。



鏡野町有線テレビ施設経常管理費

1,783万9千円 増額

光ケーブル幹線の支障木伐採を行う。
新規加入工事、共架柱建替に伴う伝送路移設等の増加による増額補正



滞在型アクティビティーコンテンツ開発事業

2,060万円 増額

誘客多角化等のための魅力的な滞在型コンテンツ造成に係る実証事業（観光庁公募事業）補助金の採択事業（補助率10/10）として「健康の町かがみの滞在型アクティビティーコンテンツ開発事業」が採択されたため。



除排雪事業費

6,000万円 増額

近年（H26年からH30年の5年平均）の委託料を考慮し、出来高払い及び完成払いに対応するための増額補正



国民健康保険特別会計

1,065万円 増額

新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金（15名分）や顔認証温度検知システム等の物品を購入する。



小・中学校単独整備事業費

678万4千円 増額

小・中学校のトイレの洋式化工事等に伴う実施計画に係る経費の補正

鏡野中学校…235万9千円
南小学校…442万5千円



令和2年度 12月一般会計補正予算

番号	事業名	予算額	補正理由
1	鏡野町有線テレビ施設経常管理費	1,783万9千円	光ケーブル幹線に樹木が覆いかぶさりケーブル損傷の危険性があるため、樹木伐採を行う。 新規加入工事、加入世帯のプラン変更、全解約撤去工事及び共架柱建替に伴う伝送路移設等の増加による増額補正
2	財政経常管理費	370万5千円	かがみのふるさと応援寄附金（ふるさと納税）の申込件数が、見込より多いため増額補正
3	空き家片づけ補助金交付事業	20万円	申請見込み件数増による増額補正
4	新生児特別定額給付金給付事業費	900万円	新型コロナウイルス感染症対応事業として国の定額給付金事業の対象から外れた新生児への給付事業を実施するため。
5	空家改修補助金	100万円	申請見込み件数増による増額補正
6	選挙管理費	1,067万3千円	公職選挙法の改正により、町長及び町議会議員選挙の立候補者に係る選挙運動費用の一部を公費負担とするため。
7	国保事業勘定 事務費繰出金	68万4千円	国民健康保険特別会計への繰出金（対象事務費増額による補正）
8	国保事業勘定 その他繰出金	84万円	国民健康保険特別会計への繰出金（出産育児一時金給付件数の増による補正）
9	自立支援施設入所支援給付費	200万円	当該サービスの利用増加に伴い、年間給付費不足が見込まれるため増額 （参考）施設入所支援利用延べ人数 H31.3～R1.8 4,147人 R2.3～R2.8 4,227人
10	自立支援就労継続支援（B型）給付費	700万円	当該サービスの利用増加に伴い、年間給付費不足が見込まれるため増額 （参考）就労継続支援B型利用延べ人数 H31.3～R1.8 4,044人 R2.3～R2.8 4,593人
11	後期高齢者医療 事務費繰出金	18万8千円	後期高齢者医療保険特別会計への繰出金
12	子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費	66万円	給付対象児童数が未確定であった公務員分を含む支給額が確定したため。
13	子育て支援センター経常管理費	95万7千円	トイレの土間タイルと壁タイルの接続部分にクラックが発生したため、修繕に係る費用を計上する。
14	有害鳥獣防護柵設置事業	300万円	申請見込み件数増による増額補正
15	山口線改良事業費	減額500万円	事業費確定（見込み）による減額補正
16	中林1号線改良事業費	減額720万円	事業費確定（見込み）による減額補正
17	蜷淵線改良事業費	減額380万円	事業費確定（見込み）による減額補正
18	住宅リフォーム事業補助金	200万円	申請見込み件数増による増額補正
19	起業者支援事業	500万円	申請見込み件数増による増額補正
20	滞在型アクティビティコンテンツ開発事業	2,060万円	誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成に係る実証事業（観光庁公募事業）補助金の採択事業（補助率10/10）として「健康の町かがみの滞在型アクティビティコンテンツ開発事業」が採択されたため。
21	除排雪事業費	6,000万円	近年（H26年からH30年の5年平均）の委託料を考慮し、出来高払い及び完成払いに対応するための増額補正
22	大野小学校臨時管理費	100万円	大野小学校グラウンド南側土留めブロック積みについて、土圧と老朽化により倒壊の危険があるため改修を行う。
23	公立小学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業	減額650万円	事業費確定（見込み）による減額補正
24	公立小学校情報機器整備事業	減額1,580万円	事業費確定（見込み）による減額補正
25	南小学校単独整備事業費	442万5千円	南小学校のトイレの洋式化工事等に伴う実施設計に係る経費の補正
26	鶴喜小学校単独整備事業費	175万6千円	鶴喜小学校の污水及び雑排水配管について、割れやずれが生じており改修工事が必要となっているため、実施設計に係る経費を補正するもの。
27	鏡野中学校教育振興経常管理費	198万円	令和3年度の中学校教科書の改訂に伴い、事前に教材研究を行い教育活動を充実させるため、教師用指導書及び教師用教科書を購入する必要があるため。
28	公立中学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業	減額220万円	事業費確定（見込み）による減額補正
29	公立中学校情報機器整備事業	減額350万円	事業費確定（見込み）による減額補正
30	鏡野中学校単独整備事業費	235万9千円	鏡野中学校のトイレの洋式化工事等に伴う実施設計に係る経費の補正
31	鏡野学校給食共同調理場経常管理費	33万4千円	会計年度任用職員の給与昇給に伴う増額
32	過年災補助災害復旧費	減額120万円	事業費確定（見込み）による減額補正
合 計		1億1,200万円	

11月会議で決まりました

11月会議は11月30日に行われ4件の議案が全会一致で議決されました。

条例の一部改正

原案可決 議第73号
鏡野町職員の給与に関する条例の一部改正について

一般会計補正予算

原案可決 議第74号
令和2年度鏡野町一般会計補正予算（第7号）

特別会計補正予算

原案可決 議第75号
令和2年度鏡野町国民健康保険病院事業会計補正予算（第2号）

訴えの提起

原案可決 議第76号
訴えの提起について（学校給食費滞納金の請求に関する訴え）

11月補正予算

議会配信システム整備事業費※

455万7千円 増額

議会の本会議場での会議及び特別会議室での常任委員会等を 유튜브 を利用して生配信するためのシステムを整備するための経費

国保病院 その他繰出金

500万円 増額

新型コロナウイルス感染症対策に要する経費のための繰出金

鏡野町持続化給付金の拡充

2,000万円 増額

申請件数増による増額補正

庁舎臨時管理費

844万3千円 増額

庁舎3階の特別会議室と委員会室の空調改修工事に要する経費

※令和3年2月から本会議、常任委員会、全員協議会の **ライブ配信** が始まる予定です。

10月会議で決まりました

10月会議は10月20日に行われ3件の議案が全会一致で議決されました。

議員辞職

認可 議第3号
光吉 準氏の議員辞職について
光吉 準議員（64）が辞職

光吉準議員から、一身上の都合により議員辞職願いが提出され、議長が辞職を許可しました。光吉氏は平成29年の選挙に初当選された後、議会運営委員会と広報特別委員会の委員長を兼任されました。

定例会では常に一般質問するなど町政に尽力されました。

辞任及び選任

原案可決 議第4号
産業常任委員会委員の辞任及び選任について
辞任：飯綱 洋平委員
選任：水田 喜富委員
理由：文教厚生常任委員会の委員長及び副委員長の交代により、産業常任委員会の委員の辞任及び選任の必要が生じたため。

辞任及び選任

原案可決 議第5号
議会運営委員会委員の辞任及び選任について
辞任：水田 喜富委員
選任：岸 泰廣委員
：牧田 俊一委員
理由：文教厚生常任委員会の委員長及び光吉準議員の辞職により、議会運営委員会の委員の辞任及び選任の必要が生じたため。

実証事業「滞在型」アクティビティコンテンツ 開発事業」の概要とは

※アクティビティは「活動」、
コンテンツは「内容」といった意



飯網 洋平 議員

質問



答弁

全国的なアウトドアブランド「モンベル」と連携し、モニターツアーや調査等を実施する。モンベルが全国的に行う「ジャパンエコトラック」への登録による受入れ環境整備を行い、将来的にはインバウンドも見据えた持続的なPR・プロモーションを展開していく。

問

実証事業「滞在型アクティビティコンテンツ開発事業」の概要とこの企画の狙い、観光庁に採択された評価ポイントとは。

答

町長

鏡野町は「健康づくり条例」を制定し、高清水トレイル等、多くの自然アクティビティ素材をはじめとする健康づくりの拠点として注目されている。そこで、新しい滞在型アクティビティコンテンツを開発提供し、持続的な滞在型観光を促進する。

事業概要は、全国的なアウトドアブランド株式会社モンベルと連携し、全国100万人にせまる「モンベルクラブ」会員を対象としたモニターツアー、モニター調査等を実施し、モンベルが全国的に行う「ジャパンエコトラック」への登録による受入れ環境整備を行い、町公式観光ウェブサイトを「かがみの旅とくらし」への販売システムの導入や動画コンテンツ整備等、将来的にはインバウンドも見据えた持

問

持続的なPR、プロモーションを展開していく。観光庁の評価ポイントは、「健康づくり条例」を策定し、健康づくりを基本方針としている「鏡野町」と、健康に重きを置いた「モンベル」との連携による独自性、将来性、安定性が評価されたと推察される。

問

「モンベル」との連携による期待される効果は。またこの連携協定はいつまで続くのか。

答

町長

100万人規模のモンベル会員に対する周知・広報自体が大きな効果であると同時に、旅行会社としても日本全国で多くのアウトドアツアーやイベントを開催し、旅行商品の提供も行っている。町としては可能な限りこの連携を継続したい。また包括連携協定の期間は、2019年10月12日から1年間で、特段の申し出を行わない場合は1年間の更新が協定に表記されている。

問

2017年から3回開催されてきた「SEA TO SUMMIT」

問

は今後も継続されるのか。

答

町長

イベントとして取り組んできた「SEA TO SUMMIT」は終了し、年間のプランとして自由に参加体験できる「ジャパンエコトラック」へと移行していきたい。

問

「ジャパンエコトラック」とは。また、このルート登録による受入れ環境の整備はどうするのか。

答

町長

「ジャパンエコトラック」とは、モンベルが主催する旅のスタイルの登録認証制度のこと。トレッキング・カヤック・自転車といった人々による移動手段で、日本各地の豊かで多様な自然を体感し、地域の歴史や文化、人々との交流を楽しむながら旅をするスタイルの下、統一されたデザインの公式ルートマップをベースに、ルート情報、協力店の情報、地域の魅力を発信し、受け入れ態勢を整備することで旅行者の快適な旅をサポートするもの。登録することでモンベル会員のみに

問

ならず、あらゆる方々へ共通デザインによる見やすいガイドマップの提供やホームページ掲載による広い周知が可能となる。受入れ環境整備では、ソフト面、ハード面いずれも重要であり、例年「SEA TO SUMMIT」の費用として計上していた予算を「ジャパンエコトラック」を運営する基盤づくりの経費とし、整備の充実を順次図っていく。

問

自然アクティビティと町のオンリーワン素材を活かした、独自性のある健康プログラムが融合した滞在型コンテンツとは。

答

町長

ここである自然アクティビティとは、自然環境での健康につながる楽しみ方の総称と捉えており、町内で可能な「カヌー」「自転車」「トレッキング」「各種体験」と町が誇るオンリーワン素材「妖精の森ガラス」「足踏み洗濯「姫とうがらし」「ミツバチ産品」等を滞在型の健康コンテンツ・プログラムとしていかに

問

活かしていくかを、この事業で検証したい。表示看板設置とは。また、温泉手洗い場の設置とは。

答

町長

新しい生活様式に沿った自然資源の楽しみ方について記載した啓発看板を町内自然主要スポット（高清水トレイル、岩井滝、岡山県立森林公園、名勝奥津溪、奥津湖等）10箇所程に設置する。奥津温泉エリアに温泉を利用した手洗い場も一箇所設置予定としている。





牧田 俊一 議員



新型コロナウイルス感染症に対しての検査事業にはどのように取り組むのか

保健所、苫田郡医師会などと協議の上、支援策を検討していく。

問 庁舎内の職員が感染症を発生した場合、町民への行政サービスを継続して提供するための庁舎内の事業継続計画（BCP）の策定状況は。

答 町長 自然災害に対する取り組みとは異なるため、本年度4月に、新型コロナウイルス感染症対策業務継続計画を策定した。町職員による感染等による出勤困難者が発生した場合においても町民の生命と健康を守り、町民生活に必要な行政サービスを継続して提供していく。

問 町が管理をする病院や診療所、介護・福祉施設の事業継続計画（BCP）の策定状況は。

答 町長 現在、策定をしているのは、鏡野病院といわず山荘である。他の施設については今後、コロナウイルス感染症の感染拡大による医療・介護体制の崩壊防止を防ぐために事業継続策定が出来るよう働きかけを行っている。

問 住民の感染症に対する不安を軽減させるために抗体検査、抗原検査、PCR検査の事業にはどのように取り組むのか。

答 町長 現在、町内では発熱外来を行っている病院では医師が必要と認めた人に対して検査を行っている。町としては医師の判断に基づく検査体制を継続していく。

問 現在の鏡野病院の経営や運営状況での課題・問題点は何があるのか。

答 町長 発熱外来における専従の医師、看護師の確保が出来ていない。このため発熱外来の対応がスムーズに診察出来るよう検討をしている。

問 鏡野病院と美作保健所圏域内の他の病院との連携や協力体制は。

答 町長 美作保健所の主導のもと、PCR検査や日曜・祝日における発熱患者の診察、検査実施機関として協力を行っている。

問 町内でのインフルエンザワクチンの供給の体制は。

答 町長 全ての町民を対象

に接種費用の助成を実施しており、例年より5〜20%増加割合で調達しているが、既に在庫がなくなつた医療機関も多数存在する。県や国に対しワクチンの安定提供のための調整を要望する。

問 幼・保育園、小・中学校への発熱症状、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の対策は。

答 教育長 発熱症状への対策は、登校前の発熱の場合は欠席。学校に在学中に発熱した場合は保護者に連絡をし、帰宅してもらう。

問 感染症対策としては、咳エチケット、消毒などの基本的な事項を徹底するようにしている。

答 教育長 進学受験を控える小学6年生、中学3年生は受験の不安に加え、感染症の不安を抱えながら受験に取り組んでいる。町として、受験を控えた子どもへの対策や支援は、

を参考に、出来る限りの感染症対策を行う。また、受験や進学を控えた児童・生徒に対しては、担任や進路担当教師が本人の不安をしっかりと聴き、寄り添いながら、一緒に考え、適切なアドバイスを行うなど、不安の解消に努めていく。

問 鏡野町立図書館内に「図書除菌機」の設置が施設利用の促進と、安全対策の構築になると考えるが町の見解は。

答 教育長 「図書除菌機」は紫外線照射により本を除菌し、同時に送風によりページの間にはさまったゴミをとり、消臭抗菌剤でタバコやペットの匂いを取る機械である。県内の図書館では8つの市と町で利用しており、町民の方がより安心して図書館の本の利用ができるよう、現在図書除菌機の導入の準備を進めている。

問 新型コロナウイルスの影響により景気の低迷、町内の消費額の減少による来年度の税収の減収が予測されるが、来年度の予算と事業の計画状況は。

図書除菌機



▲除菌の様子

※事業継続計画（BCA）
Business Continuity Planning
自然災害やテロ、システム障害など危機的な状況に遭遇した時に損害を最小限に抑え、重要な業務を継続し早期復旧を図ること。

答 町長 税収については本年度と同程度を見込んでいるが、より厳しい財政状況を想定している。財源や事業を十分精査し、予算の縮減に努めていく。事業計画については商工会などと連携を密にして町内の中小の企業の状況を把握し、時期を逸することなく対応していく。

香典横領事件後の鏡野町の対策について

香典紛失事件の時効が過ぎて久しく犯人逮捕には至っていないが、行政としての反省と改善を町民の皆さんは求めている。その後風化させるのではなく、改善をどのように取り組んだのかを伺う。令和元年度6月会議最終日において、鏡野町社会福祉協議会寄附金紛失事件に関する決議案を全会一致で可決した。決議案に対しての現在までの取組状況を伺う。



仲西 祐一 議員

質問



質問の趣旨

問 提言1 町民、被害者（寄附者）及び社協に対し本事件の詳細を説明して町として謝罪すること。また、議会に対し詳細な報告を行うこと。について現在までの取組状況を伺う。

答 町長 被害が確実に判明した5件の皆様方に対し、お宅に訪問して事の経緯を説明をした上、事件解決に至らなかったことの謝罪を行い、今後の再発防止についてお伝えをしている。

問 説明を行ったが、それ以外のことはどうなのか、町民の方及び社協に対し事件の詳細を説明して町として謝罪する事というのがある。それに、議会に対して詳細な報告を行うこと、それに対して答弁をお願いする。

答 町長 この件については、全体の中できれいに整理をして改めて皆さん方に御報告をする。その時間をいただきたい。

意見 まだいろいろ取り組み事があると思う。議会にも進んでいく段階の中で報告をお願いする。

問 提言2 職員のコンプライアンス意識の向上や業務改善を行う計画を作成、実行し、その詳細を町民に報告すること。について現在までの取組状況を伺う。

答 町長 職員の研修について、毎年度鏡野町職員研修計画を総務課において作成し、研修を行っている。本年度は、令和2年7月14日、15日の2日間、全職員を対象として開催をしている。

意見 この提言には報告をする事とある。聞けば答えるという形ではなく、発的に公表するべきだと思う。計画も公表するべきだと思う。

問 提言4 町役場窓口での香典返し寄附金の取扱いを復活させることについて現在までの取組状況を伺う。

答 町長 寄附金等の受領については社会福祉協議会の各地域福祉センターにおいてのみで取り扱う旨の連絡を受けている。今後も取り扱う予定はない。

問 連絡を受けたと言われるがなぜそういう事になったのかという理由を伺う。

答 保健福祉課長 社会福祉協議会が寄附金の受付をされるということを出されたのでそのように取扱っている。

問 研修もしている、対策もできている、ではなぜそれが実行できないのか、逆に明確な理由として説明をして町民の方々に理解をしてもらうということが必要だと思うが、見解を伺う。

答 町長 この事件が起きて様々な向きから検討を加えた。その結果、センターで社会福祉協議会あるいは各地の福祉センターのみにお願いして取り扱う事になった。今後の在り方については協議したいと思う。

問 令和2年度鏡野町経営方針について

答 町長 ①最重要施策の農業において。新規就農者の確保・育成という中にある1つ目、定住化の推進施策等と連携し、Uターン、Iターン、Jターンなどの就農者を支援する対策を行うこと。

②各関係団体連携の下、農家情報の収集、戸別訪問を行い、青年就農者のみならず新規就農者の掘り起こしと認定農業者の確保、育成を図ることとあるが、本年度の取組と成果について数値を含めて伺う。

答 町長 鏡野町での本年度の新規就農者の相談については5件あった。

問 本年度については、相談者のうち2名が来年度農業研修を開始している。うち1名がUターン者としての対象となる見込みである。

答 町長 本年度新規認定農業者については、1名の方と相談を継続しており、認定農業者の更新についても現在まで5名の方の面談を行い、認定審査会を経て、年度末までに合計16名の方との面談による更新継続を実施していく予定である。

問 新規就農相談5件というお話があったが、確保、育成をしていくという意味では5件というのが多いと思うのか少ないと思うのか。

答 産業観光課長 例年5件程度。例年新規就農者の数は、29年度1名、30年度5名で、元年度は3名。その割合からいくと本年度についても2名程度の方は新規就農する予定。

問 取り方はいろいろあると思うが、目標数値は設定されていないのか。

答 産業観光課長 新規就農者数の目標数値は、例年3名という数字を上げている。それに対して本年度は恐らく2名になるということですが若干少ないかと思うているが、コロナがあるということで致し方ないと思っている。

問 私は3件というのは少ないと思う。今後例年3という数字ではなく向上する目標数値を設定してもらいたいと思う。その1名がUターン者としての対象となる見込みということだが、そのUターンも目標として何件とかの目標があるのか。

答 産業観光課長 Uターンの目標値として設定はしていない。何か目標になる数値というのは必要ではないか。

意見 今後、検討して欲しい。



片田八重美 議員

質問

いつの間にか置き去りにされそうな 敬老祝賀会の町としての今後の方針は



答弁

敬老者の皆様に敬意を表し長寿のお祝いをする方法を模索する。

問 特に高齢者はコロナリスクが高く入院すると面会もできず、家族とも地域とも離れてしまう。このような状況下だからこそ福祉に優しいまちづくりが求められているのではないだろうか。これまで開催してきた敬老祝賀会の実施主体を地域に移行させようとした経緯について尋ねる。

答 町長 新町として、できる形で敬老祝賀会を実施してきたが、出席者は対象者4人に対して一人の割合での参加であり、評価会議では「平等性に欠けるのではないか」との意見もあり、敬老祝賀会の在り方について協議してきた。また、近隣市町村の状況を調査した結果、自治体が主催するところはなく、高齢者の皆様に敬意を表し長寿のお祝いをする方法や、場所などを身近な地域でとの思いから地域づくり協議会へ提案した。

問 まず、評価会議、評価検討会とはどのような会議を言うのか。

答 保健福祉課長 敬老会が終わるたびに評価会議を行っている。評価検討会議については、今後の方針などを協議している。メンバーは、民生委員、愛育委員、栄養委員、老人クラブの代表、そして、公民館長さんらと協議を重ねた。

問 地域づくり協議会に提案したことについて、担当課はどのように思ったのか。

答 保健福祉課長 長寿のお祝いをしていながら、米寿のお祝いなどについても今までどおりしていきたい。皆さんが参加できて、やりやすい方法で続けられたらという思いはある。

問 私は、敬老者を敬う意味においても町が主催すべきと思うが、やはりその考えはないのか。

答 町長 冒頭にも申したとおり、委員の皆さんと協議した結論として、町主催の敬老祝賀会は現在のところ考えていない。

問 敬老者の皆様に敬意を表し、長寿のお祝い方法を模索するところがあるが、どのように模索するのか。

答 保健福祉課長 なかなか申しづらいところではあるが、本年度は商品券を配らせてもらった。こういった格好でいいのであれば、この方向で検討していきたいと考えている。

問 今回配られた商品券はJCBギフトカードだったと思うが、この商品券を配られた理由は。

答 保健福祉課長 近隣の市町で一番取

扱店が多かったこの商品券を選んだ。

問 実は、この商品券にいたっては様々な声を聞いた。どこで使えるのか。いただけることは嬉しいが、足がないので近場で使えた

ら有難かった。町内の大手スーパーでも使えない。使い便利が悪いとの声を多く耳にした。来年度も商品券を予定するのであれば、もらって自身で使えて喜べるもの、例えば500円、1

岡山県立森林公園の更なるバリアフリー化に向けてもっと強い要望を

問 県に対しても利用者の拡大に向けて強く要望する。

問 管理棟の石の階段に電動式の椅子が設置され、念願のバリアフリー化が一部実現した。町長の尽力に感謝したい。まずは、バリアフリー化の第一歩であり、第二歩に向けて更なる尽力に期待するが。

答 町長 私も含めた多くの方の要望に応えた形での実現であり、非常に喜ばしく思う。町内全ての施設について、多くの方が利用可能な状態となるのが理想であり、岡山県に対しても、更なる利用者拡大に向けた措置を引き続き強く要望したい。

問 まずは一歩に感謝だが、実際に要望されて

いたメンバーと同行し、体験したが、電動式の椅子に乗り降りするのに3人ぐらいの人の手が必要で、時間もかかるしメンバーはとも恐縮していた。森林公園職員の対応は実に丁寧だったが、このことについてどのように思うか。

答 町長 県立森林公園であり、誰もが利用できるようバリアフリー化をお願いし、この向きを伝えたいが、どんなものが付くか、何にしますかとの問い合わせもなかった。多くの人が利用できるようにと要望をした。

問 園内はとてもきれいに整備されているが、



▲森林公園

答 町長 そうゆうところも全てお願いしているが、ご存じのように岡山県立森林公園であり、県の議員さんがおられるので、そちらのほうで直接的に思う。ただ、設置している自治体は鏡野町なので、バリアフリー化の要望はする。

答 保健福祉課長 ご指摘のあったところを十分検討したいと思う。



中西 省吾 議員

質問

町政を再検証 鏡野ケーブルTV事業85億円は順調か

機器更改費の議会説明資料と契約後の機器更改費差額12億5千2百万は相違ないか

契約変更をしない理由は

差額は業者が得るのか

損害責任は誰が負うのか



答弁

間違いない。

契約変更の要件に該当しないため。

契約額は支払う。

原因者が負う。

問

9月議会の一般質問の答弁により更に疑問が浮上した平成25年3月会議の鏡野町地域情報通信施設整備運営事業約85億円について更に検証する。

平成24年11月19日議員全員協議会（以下、全協）の説明資料では機器更改費は27億100万円であった。契約時の機器更改費はいくらか。

答

町長

14億4,900万円。

問

町長

その差額の契約変更は、

答

町長

できない。

問

町長

差額は業者が得るのか。

答

町長

業者に契約額は支払う。

問

町長

この差額に疑問は持たなかったのか。

答

町長

この時点で遡って調べることは困難で、その当時の記憶はまだ、辿ってない。

問

町長

12億5,200万円の差額を本当に覚えていないのか。

答

町長

当時の資料を確認していない。よって、細部の説明は控えたい。

問

一般質問は町長宛にしている。調べなければ答弁ができないのではないのか。

答

町長

記憶がないのか。

問

町長

先程のとおり。

問

町長

では、11月の表の総額が85億円、1年後の表の総額は85億円、機械の費用は27億100万円から14億4,900万円になった。しかし、契約額は変わらない。疑問を感じなかったのか。

答

町長

最初の想定にたまに近かったと思う。

問

町長

契約額は変わらず機械費だけが12億5,200万円下がった。このお金はどこに使われたのか。

答

町長

設計施工費、その後の維持管理費の中で適正に使われるというところで契約をしたものと思っている。

問

町長

1年後でもこのお金がどこに、どう使われているかを考えたことはないのか。

答

町長

正確には申せない。

問

平成25年3月会議の委員会審査で契約書の開示を求めたが、弁護士から企業秘密の関係で不開示となった。その後の開示請求により契約書が開示され、黒塗り部分は企業の印影のみであった。本当に契約書に企業秘密があったのか。

答

町長

契約書だけでなく関係書類について顧問弁護士と相談し不開示とした。

問

町長

当時の議会に性能発注の説明をしていなかったか。

答

町長

平成24年3月会議に性能発注の徹底を説明した記録が残っている。

問

町長

9月の一般質問で縮減率の16.7%は町職員が出したと述べたが、当時の質問の回答ではコンサルタントが出したとある。

答

町長

その時、職員が出したと言ったが再調査するとコンサルタントと契約していた。根拠となる数字を職員が提供し、コンサルタントが試算したと考える。

問

平成25年1月29日に縮減率8%、縮減額4億3,800万円を町のホームページで公表したと言いがなぜ、変わったのか。

答

町長

想定段階の数値と提案者の数値が異なるのは致し方ないと思う。

問

町長

契約書の開示により平成26年4月15日の議会勉強会資料（執行部提出）に誤りがあったことが判明した。契約書の機器更改の回数は、奥津・上齋原・鏡野地域が各1回、富地域が2回とあるが、勉強会資料は奥津・上齋原・富地域が2回、鏡野地域のみ1回になっている。どちらが正しいのか。また、回数の変更は可能なのか。

答

町長

議会勉強会で契約書第37条にある維持管理業務計画書に奥津・上齋原・富地域が2回、鏡野地域が1回と記載されている。

問

町長

これについては、平成26年3月14日に鏡野光サービスと締結した覚書により勉強会資料のようになった。その内容は勉強会で報告した。

問

町長

維持管理業務計画書と契約書が食い違わず。

答

奥津・上齋原地域の機器は補助金を別から受けており、そちらに確認したところ省庁の定めている年数に達していないので平成25年、26年の設計施工業務ではできないことになり、後年度に繰延することを勉強会で説明したような経緯がある。

問

町長

勉強会で説明を受けた記憶はない。契約書にないことを行うは契約変更ではないか。

答

町長

それは覚書で行っているようである。近々、鏡野光サービスと会ったので契約変更するか確認する。

問

町長

きちっとしたことやりましょう。覚書に押印するのは町長、何の覚書かしっかり確認して押すことを願う。

答

町長

損害責任は原因者が負うとの答弁だが、町か、企業か。

問

町長

契約書に記載している、例えば町の責めによる損害は町、事業者の責めによる損害は事業者が補償することが書いてある。

問

町長

続いて、次の3月議会でも更に質問をする。よく精査をお願い。

問

町長

続けて、次の3月議会でも更に質問をする。よく精査をお願い。

問

町長

続けて、次の3月議会でも更に質問をする。よく精査をお願い。

問

町長

続けて、次の3月議会でも更に質問をする。よく精査をお願い。

問

町長

続けて、次の3月議会でも更に質問をする。よく精査をお願い。

問

町長

続けて、次の3月議会でも更に質問をする。よく精査をお願い。



原 章倫 議員

質問

高齢者、障害者の診療、買物にタクシー利用の 料金援助制度の創設を



答弁

協議・検討し、実情に合わせ具体的に
進めていく考えである。

問 令和2年度末までの予定で進めている町内全ての公共交通会議の進捗状況は。

答 町長

問

鏡野町地域公共交通計画の策定については、本年6月15日に国から補助金の交付決定があり、鏡野町地域交通会議で審議しているところである。昨年度も含め、現在まで3回の会議を開き、委員や専門員から意見をいただいている。また、12月から無作為に抽出した高校生を含む2千人と、町内を走るバスを実際に利用している方に対してのアンケート調査を実施している最中であり、これにより得られた調査内容を分析し、その結果を踏まえた提案を公共交通会議に対し行う。会議であった意見や調査結果を踏まえ、これからのあるべき町の公共交通のあり方を検討し、計画策定に反映させたい考えである。尚、進捗についてはコロナ禍の影響もあり、スタートが若干遅れたが、本年12月末までにアンケートを回収し、分析するという作業計画は予定通り進んでおり、3月末まで

にバブリックコメントが行える状況にしたいと考えている。

問

高齢者の病院の受診や買物の移動手段として公共交通以外の調査やアンケート等は行っているか。

答 町長

問

今回、実施しているアンケート調査の中でバス利用状況を探ねるとともに、バスを利用しない場合の交通手段や移動目的などを具体的に伺って進めている。

問

高齢者、障害者が複数の医療機関等へ行く移動手段の幅を広げるため、公共交通と併用したタクシー利用の料金援助制度の創設を望む。

答 町長

問

創設を要望されたタクシー利用の助成制度については、すでに利用券やデマンドタクシー等を実施している自治体もある。本町においては民生児童委員協議会など各種団体で組織する「住みやすい町づくり会議」において、そのような課題や要望に対し、どのように解決していくか協議しているところである。町として、アンケート調査

の結果や制度の創設に伴う財政負担、既定路線との関係をどのようにしていくか、各地域の地理的要因や地域の実情に合わせた取り組みなど様々な角度から協議・検討を行い、その結果により具体的に進めていきたいと考えている。

問

近隣自治体で類似の制度を実施しているところはあるか。

答 町長

問

岡山県北近隣の市町村の令和元年度において、運行形態を把握している範囲では、美咲町は運転免許証自主返納者には年間6千円のタクシー利用券の配布及び65歳以上でタクシー運賃の助成制度を実施している。奈義町では、無償福祉タク



▲鏡野町国保病院

シーの実施や予約型乗合タクシーの料金を半額にする制度がある。美作市では、市内のタクシー利

用に対して半額助成（上限5千円まで）を行っている。

令和3年度予算策定について（税込・町債）

問

新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度と比較して町税・地方消費税交付金などがどの程度減収になると試算しているか。

答 町長

問

新型コロナウイルス感染症拡大の影響が明確に現れているのは、観光事業の停滞による入湯税予算で、40%減収見込みである。町民税においては、個人又は企業の経営状況等で明確な変動が現れておらず予測が困難なため、今年度とほぼ同額を見込んでいます。固定資産税も同様である。軽自動車税は微増、たばこ税は2%程の減収を見込んでいる。税込全体では本年度とほぼ同額を試算している。

問

歳入の内、町債（過疎地域自立促進特別

答 町長

問

現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は、令和3年3月をもって失効するが、国からはいまだに新たな過疎対策法の制定についてはなにも示されていない。過疎債の借り入れでは多くの恩恵を受けており、町としても継続されないと大きな支障をきたすため、継続的な要望を国に対して行っている。現在編成中の令和3年度予算においては、今まで通り、過疎債を見込んでの予算組みを予定しているが、国の動向を注視しつつ、長期計画の策定あるいは事業の見直し等も検討していく必要があると考えている。

香々美小学校5・6年生子ども模擬会議

令和2年10月1日

香々美小学校児童が議会体験

令和2年10月1日、香々美小学校の5、6年生（12名）が参加し、本庁3階の議会本会議場にて模擬会議が開催された。事前に議長、事務局長、議員の役割を決めて各々の席に座り、私たち議員と同様に着席し、一般質問形式で9名の小学生議員が登壇し質問を行った。山崎町長と武本教育長に予め学校で考えていた質問をした。本会議場での立ち振る舞いを事前に確認して本番に臨んだ児童の皆さんだが、かなり緊張しており最初は戸惑った様子だった。しかし、段々と落ち着きを取り戻すとマイクの前でしっかりと発言をされた姿がとても印象に残った。

質問の内容は学校に関すること（4件）、香々美地区に関すること（2件）、鏡野町全体に関すること（3件）が挙がった。

学校に関すること

- 問① 「香々美小学校にうんていやシーソーなど遊具を作してほしい」
- 問② 「子どもが少なくなってきたので、他の学校との交流を増やし、一緒に体験ができるようにしてほしい」
- 問③ 「香々美小学校の通学路には、スピードを出す車があり危ない。雨の日には特にゆっくり走ってほしい」
- 問④ 「中学校までの通学路で危ない箇所がある。自転車専用道路を作してほしい」

香々美地区に関すること

- 問⑤ 「新町公園の整備をしてほしい」
- 問⑥ 「香々美地区にお店を作してほしい」

鏡野町全体に関すること

- 問⑦ 「町内に観光する場所はどれくらいありますか？」
「雨が降っても遊べる施設を作してほしい。アスレチックがあるような広い公園があると嬉しい」
- 問⑧ 「高齢者で免許証を返納した人が、バスやタクシーを利用する際に割引はありますか？」
- 問⑨ 「町内で大きなイベントを開催してほしい」

小学生ならではの可愛い質問やハッとさせられる鋭い質問があり、町長や教育長が優しい言葉を選んで答弁しているのが新鮮であった。数日後、参加した児童さんから感謝の感想文が届いた。「これからは議会放送を見ます」「とても緊張した」等のご意見をいただいた。このような町民の方から議会に関心を寄せていただける機会づくりは大切だと感じている。

最後に

近隣市町村で行われている子ども議会をこれまで何度も実施するよう担当課にお願いしたがなかなか実現には至らなかった。この度、香々美小学校から依頼があり実現できたことが嬉しい。実際に子ども議会に関わってみて、私たち議員も更に頑張らないといけないという思いが強まり、今後も児童さんの意見に耳を傾けていきたいという思いを新たにしました。

鏡野町の児童数は確実に減少しているが、諦めたらそこで終わり。V字回復とはいかなくても、減少を緩やかにして歯止めをかける方法を模索したい。今後、「GIGAスクール構想」という国の方針により各小中学校児童・生徒にタブレット端末が配布される。先端機器をしっかりと活用して、町内外の小学校とも交流を増やし、楽しく学べる学校づくりに役立ててほしい。今回は、素晴らしい機会をつくっていただいた香々美小学校の仲矢校長先生、米井先生に感謝したい。今後、他の学校でも子ども議会を実施していただけたらと願っている。

（仲西 祐一）



児童からの質問への回答

児童の皆さん、素敵な質問をありがとうございました！



問①の回答

教育長 役場は、どうしたら住んでいる人たちが安心して暮らすことができるかを考え、施設を作ったり、壊れたところを直しています。去年は、ジャングルジムを新しく設置し、今年は総合遊具を直しました。新しい遊具を設置することが皆さんにとって必要なのか、安全に使うことができるのか先生方と相談して考えていきたいです。

問④の回答

教育長 日頃からの役場職員のパトロールや、地域住民の皆さんからの通報や要望によって、道路のこわれた場所などの修理を行っています。特に、道路に穴があいているとオートバイや自転車に大変危険ですので、そういった場所はすぐに修理することにしています。

問⑦の回答

町長 「道の駅 奥津温泉」やキャンプ場、奥津温泉、飲食店など全部で80施設以上あります。また、鏡野ドームの周辺に「多目的公園」の整備を行います。アスレチック施設も検討していますので、完成したらご利用ください。

問②の回答

教育長 他の学校と交流が増えれば、同じ体験を通じて、友達も増え、お互いに成長しあえると思います。今年は、コロナウィルスでいつものような修学旅行には行けません。香北小学校や富小学校と合同で日帰りのバス旅行を先生方が計画してくださっています。

問⑤の回答

町長 新町公園は、土地を所有している方から新町地区の皆さんが土地を借りて管理運営しているので、町では整備ができない状況です。現在、町では鏡野ドーム横の土地を買い、令和5年までには交流イベントやスポーツ・レクリエーション、憩いの場として利用できる多目的公園整備を進めています。

問⑧の回答

町長 運転免許証を自主的に返納された、岡山県内に住まわれている65歳以上の方には、県内の警察署に申請すれば「おかやま愛カード」が発行されます。このカードを提示することで、中鉄北部バスや鉄道の運賃が半額になり、タクシーが1割引になります。

問③の回答

教育長 大野小学校周辺から香々美橋までの県道は、時速30kmから時速40kmに制限されています。また学校東側の県道も時速40kmに制限されています。そのため学校周辺の道路上には、「減速」と大きく表示されていてスピードを落とすようドライバーに警告しています。

問⑥の回答

町長 お店の近くの方がたくさん買い物をしてくだされば経営が成り立つのですが、今はお店を作っても経営が成り立たなかったりするので、新しいお店もできない状況です。地域住民で空いたお店を借り上げて運営しているところもあります。いろいろなアイデアを出してみてください。

問⑨の回答

町長 5大イベントとして、8月には奥津湖で実施する「鏡野大納涼祭」と富地域で実施する「富ひらめ祭り」、9月に鏡野ドームで行う「産業まつり」、10月終わってから11月にかけて、東洋一の甌穴ときれいな紅葉で有名な奥津溪で開催される「奥津紅葉まつり」、2月には大玉の花火とレーザーショーの「恩原高原氷紋まつり」があります。

★児童の皆さんからお礼状が届きました！ 素敵な感想を沢山いただきました。



- 25歳から議員に立候補できることや18歳から投票ができることがわかりました。
- これからは鏡野情報局をみて、議会をしているところを沢山みようと思いました。
- 議会をやると自信が持てるようになりました。これからは自信を持って、議会で学んだことを活かしたいと思いました。
- みんなで支え合うと自信が持てることを学びました。これから人前で発言するときは自信を持って発言しようと思います。



▲手作りのお礼状に感激

第三セクターでV字回復した 奈良県黒滝村を※リモート視察研修

コロナ禍により、委員会研修をリモートで行うことになり、奈良県黒滝村に視察先を選んだ。

総務省のページから「全国過疎地域自立促進連盟会長賞」を受賞した奈良県黒滝村を見つけ、地域が誇れる企業「株式会社黒滝森物語村」が、第三セクターとしてV字回復したことを知った。多くの指定管理施設を持つわが町だけに大変興味深く感じた。と同時に、初のリモート視察研修を試み緊張した。

さて、人口671人の黒滝村は、村の観光産業の活性化と地域振興を図るため、平成2年から「森の交流館」や「きららの森」といった宿泊施設を順次整備し、平成9年に村が全額出資し「財団法人黒滝森物語村」に運営を委託した。

しかし、経営は上向かず、平成23年3月、村民・議会・行政が一体となり、経営改善を行うため「株式会社黒滝森物語村」へと変更した。それでも業績は、25年、26年と過去最悪を記録。起死回生の秘策として、全国各地のリゾート観光施設再生事業に25年間従事した経験をもつ、同村出身の辰巳繁氏に白羽の矢を立て、27年11月、前村長が口説き落とし副社長として招き入れた。

新副社長の手腕が事業成功へと導いた。身を切る改革も行った。まず、現役員2名、正職員3名を退職させ、5つの経営改善計画を掲げて行革を推進するなど、運営体制を刷新し、従業員の「意識改革とレベルアップ」を徹底した。経営者と従業員は毎日の損益状況を把握し、利益追求に取り組み事業計画に至るまで共有した。

お客様目線でもてなしする大切さを徹底教育し、高齢者をターゲットとした広告宣伝をし、閑散期には蛍鑑賞や花見などのキャンペーンを



▲コンビニ

より強化させた。平成28年には道の駅にコンビニも誘致した。経費削減も断行した。電気代契約の見直しで年間250万円削減し、赤字を出している6次産業商品の製造中止をするなど、徹底して不採算事業は廃止した。

V字回復させるには、並みの努力では駄目で、新しい経営判断の舵取りが必要だと痛感した。改善に取り組んだ結果、雇用者数の増加、若者のIUターン増、所得向上などの成果があり、村の税収確保へと繋がった。33人の雇用から62名に増加しその6割はシニア世代が担っている。今後は、宿泊事業を核として「奥吉野」の観光拠点を目指している。

今回のリモート視察研修では、多くのヒントが得られた。第三セクターを持つ自治体は多大な経営努力を払っているが、要となるしっかりとしたリーダーやキーマンが必要であると感じた。多くの委員から業績回復の秘策は何かと質問が挙がり、甘えを排することだと言われた辻村村長の言葉が深く印象に残った。鏡野町に数ある町営施設運営の参考にしたい。

(産業常任委員長 片田八重美)



▲リモート視察研修風景



▲森の交流館

※リモート視察研修：インターネットでつなぎ、画面上で視察研修をすること

講師 中村聡志 教授（山陽学園大学 地域マネジメント学部）

講演 「地域マネジメントの考え方 ～BNCTを活用した地域活性化と関連して～」

どうすれば私たちが暮らす地域がより住みやすく、経済的にも豊かで、人々は元気に安心して暮らせるのか。地域マネジメントとは、私たちが暮らしやすい生活環境をどのように守り永く続けていけるのかという問いに対して、多角的に方法を考え、行動へと導く実践的な学問だと感じた。講師の中村先生は、30年間ほど日本政策投資銀行に勤められた経験から自治体の政策にも精通されており、現在は大学の地域マネジメント学部の教授をされながら、地域振興について研究をされている。今回、中村先生を招いて勉強会を開いた理由は、鏡野町が岡山大学とともに将来的に構想しているBNCT（最新のがん放射線治療「ホウ素中性子捕捉療法」）の治療施設や研究拠点の整備について、先生の広い知見から、その構想の将来性や可能性について学び、我々議員も理解を深めるためであった。

先生曰く、地域を活性化させるには、地域固有の資源を活かした経済活動を循環させ、生活空間や環境を持続可能にしながら、住民の気持ちをより元気にすることが求められるという。平たくいえば「経済＝しごと」「空間＝まち」「住人＝ひと」であり、それら3つの分野の中心に地域経済社会がある。それらはどれもが影響しあい循環的であるため、どれか一つの分野でも集中的に活性化できれば、自然と地域経済社会がうまく循環するようになると中村先生は強調された。

地域を活性化するには、主体的に事業に取り組む人々や企業がいることが大前提である。そして、その主体を支えるキーパーソンも必要不可欠な存在である。キーパーソンとは、事業の総指揮を務める経営者的役割、先見性をもったビジョンを描き明確なシナリオを描く役割、住民とともに汗をかき人や企業を動かすコーディネーター的な役割などを担う人々や団体を指す。更にここに金融機関のバックアップや行政サポートが加わることで自走可能な事業の仕組みを作り出し、実現に向けて動き出す力が生まれる。

成功事例として、葉っぱビジネスで著名になった徳島県上勝町「いろどり」が紹介された。葉っぱビジネスとは、日本料理を美しく彩る季節の葉や花、いわゆる「つまもの」を栽培・出荷・販売する農業ビジネスのことで、女性や高齢者も取り組めるのがポイント。女性や高齢者に仕事生まれ、出番と役割ができたことから元気になり、町

の雰囲気も明るくなったそうだ。老人ホームの利用者も減ったという。

鏡野町のBNCT構想はどうだろうか。先生の見解では、原子力機構関連資源のレガシー遺産を有効に活用する取り組みであること、また津山中央病院など医療集積地に近いことが評価できるポイントとして挙げられた。しかし疑問点もある。事業として持続可能な仕組みづくりができているのか。本気で学習を繰り返し共感する主体が拡大しているか。リスクを取れる主体やパートナーはいるか。そこがまだ明確になっていないのである。

同様な事例として、鹿児島県指宿市のメディボリス国際陽子線治療センターを紹介された。このセンターは新日本科学（東証1部上場企業）が運営し、鹿児島県と鹿児島大学が協力主体として参画している。

講演終了後、議員間討議を行う中で、BNCT構想について岡山大学への寄付が来年度で終了するが、それ以降は構想自体を中止にすべきではないかという強い意見まで出された。

町の未来に関わるこの構想をどのように進めていくのか、執行部により一層の説明を求めたい。

（議会運営委員長 岸 泰廣）

中村聡志教授プロフィール

1963年東京都中野区生まれ。東京大学経済学部、法政大学大学院社会科学部政策科学専攻修士課程修了。日本政策投資銀行、日本商工会議所、政策研究大学院大学等を経て2018年より現職。

<BNCT「ホウ素中性子捕捉療法」構想>

鏡野町は将来、BNCT（最新のがん放射線治療「ホウ素中性子捕捉療法」）の治療・研究拠点の整備を構想しており、現在、その取り組みを岡山大学と進めている。2017年2月、町・岡山大学・人形峠環境技術センター（上齋原）を運営する日本原子力研究開発機構（本部・茨城県）の三者が協定を結んだが、これは放射線利用などに関する研究の延長で、岡山大学が進めるBNCTの研究プロジェクトを核に取り組みを充実させるためである。その研究費として町は、同大学の関連研究センターに17年度から5年間、毎年2千万円（合計1億円）の寄付を行い、来年度が5年間の最後となる。



鏡野町議会を傍聴してみませんか!!

次回定例会の日程 (予定)

詳しくはホームページなどで確認してください。

と き	主な内容
2月8日(月) 10:00～	議案の提案理由説明
2月10日(水) 10:00～	議案の質疑
2月18日(木) 10:00～	一般質問
2月22日(月)・24日(水)・26日(金) 10:00～	常任委員会議案審査
3月3日(水) 10:00～	議案質疑、討論、議決

【問合せ】 議会事務局 54-2926

10月会議傍聴者人数 10/20 (随時会議)…2名

11月会議傍聴者人数 11/30 (随時会議)…2名

12月会議傍聴者人数 12/3 (提案)…2名、12/7 (質疑)…1名、12/14 (一般質問)…4名、
12/24 (議決)…2名

12月常任委員会傍聴者人数 12/15 (総務)…1名、12/17 (文教厚生)…3名、12/18 (産業)…1名

開かれた議長室の報告

昨年10・11月に本庁舎、奥津・上齋原・富公民館で「開かれた議長室」を行い、次のような声がありました。

○奥津地域から、行政と地元との協議は毎回同じ意見・質問が出ている。何故改善できないのか。

○上齋原地域から、新型コロナウイルス感染者・家族に誹謗中傷が無いように。又、検査結果が出るまで家族は外出できない。何らかの支

援を。町民アンケートは形骸化している。無関係なことは回答できない。

○富地域から、地域振興課の復活と地域事情に合った公共バスの利便性を求める。

ご意見を真摯に受け止め課題解決に向け取り組んで参ります。議会は町民福祉のために存在しています。

今後とも議会に対し、ご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

(中西 省吾)

シリーズ⑦ 議会用語

議会や議員、行政に関する用語をわかりやすく解説します。

所管事務調査とは?

鏡野町議会では、総務常任委員会、文教厚生常任委員会、産業常任委員会にそれぞれ議員が選任され、委員会運営を行っている。各部門に属する行政の事務調査、執行部からの議案、条例の制定や改正、予算、決算認定の審査、請願、意見書等が議会に提出された際、担当となる委員会が審査する。また各委員会は、町の課題や問題点に対し適切かつ速やかに対応するため、専門性を活かし自主的な調査を行う。そのような各委員会が管轄する事務調査のことを「所管事務調査」といい、その調査権を積極的に行使することで議会の行政に対する監視機能を強化している。更に、町長等執行機関に対し、具体的な政策や施策を提案することもできる。尚、所管事務調査を実施する際は、事項や目的等を議長に通知し、結果を報告しなければならない、とされている。(原 章倫)

「声の広場」募集しています

このコーナーは皆様の投稿を掲載します。議会に対するご意見や、要望、イラスト、写真、四コマ漫画など何でも受け付けています。お気軽にご投稿ください。

どうなった?あの質問!!「追跡コーナー」

「あの質問はいつたいたったのか?」町民の皆様から、そのような声があれば追跡いたします。皆様からの情報、声をお待ちしています。

応募先 〒708-0392
鏡野町竹田660 鏡野町議会事務局
電話 54-2926
FAX 54-4445

編集後記

春の訪れが待ち遠しい昨今ですが、お元気で過ごしてでしょうか。新年になり初めての議会だより「かしの木」第7号をお届けします。本号では主に昨年12月会議の報告や一般質問等を掲載しています。私事ではありますが、昨年11月より広報委員長を引き継ぎました。若輩者ですが、どうぞよろしく願います。さて、昨年は新型コロナウイルス感染症により文字通り「世界が一変」し、コロナ対応に明け暮れた大変な一年でした。連日感染者数が報道され、社会を閉塞感が覆う中、コロナ疲れの方も多いと思います。まずは皆様ご自身の心身が健やかでいられるよう、リラックスメンタルで過ごすように。春はもうすぐです。(飯綱 洋平)

【広報特別委員】

委員長 飯綱 洋平
副委員長 牧田 俊一
委員 仲西 祐一
片田 八重美
中西 省吾
原 章倫